

くりはらツーリズムネットワーク会報

くりはら時間
timezone Kurihara

15

Kurihara Tourism Network
くりはらツーリズムネットワーク

〒987-2216
宮城県栗原市築館伊豆二丁目6番1号
栗原市市民活動支援センター貸事務室
電話・FAX 0228-23-0050
Email:kurihara.tn@gmail.com

いよいよ10月1日(土)から50日間、栗原市の魅力を交流しながら体験する「くりはら博覧会“らいん”2011秋」が始まります。

プログラムの主管をはじめ協力者の方々、くりはらツーリズムネットワーク全会員、そして栗原市民のみなんで盛り上げましょう!



○オープニングイベント

くりはら博覧会「あつま“らいん”」

「くりはら博覧会“らいん”」の各プログラムの紹介をはじめ、宮城県一迫商業高等学校 商業研究部の学生による、地元栗原市を盛り上げ、県内外へと地域の魅力を発信する研究発表があります。(県大会2位、東北大会出場)



さらに、人の繋がりや、自然と共に暮らすことの大切さを探るドキュメンタリー「幸せの経済学(ヘレナ・ノーバーク=監督)」の上映会を行います。3月の震災を受けて、食や環境が見直されている中、これからを幸せに暮らす為のヒントが、この映画に示されています。



- 日程 10月1日(土) 13:00開場
13:30~ オープニングセレモニー
14:00~ くりはら博覧会“らいん”紹介
14:30~ プログラムNo.1 研究発表
「地域活性化プロジェクト」
主管: 宮城県一迫商業高等学校商業研究部
15:00~ 「幸せの経済学」上映
16:30~ 終了

- 対象 どなたでも
○参加費 500円(映画上映費)
○会場 一迫ふれあいホール
○申込締切 9月30日(金)17:00まで
○申込み・問い合わせ先

Kurihara Tourism Network
くりはらツーリズムネットワーク

TEL・FAX 0228-23-0050
電子メール kurihara.tn@gmail.com

活動報告

2011. 7. 27~8. 28

はすまつりと若柳の手仕事をゆらゆら巡る 蓮の花咲く栗原ゆらゆら巡り2011



★日時 8月 5日(金) 9:45~15:45
8月10日(水) 9:45~15:45

★コース

- ①伊豆沼・内沼はすまつり
 - ・蓮クラフト作家山谷信子氏の特別ガイド
- ②若柳地織織元はたや
 - ・工場見学と旧若柳駅周辺の街歩き
- ③農家民宿と心の料理 有賀の里たかまった
 - ・昼食 ・たかまった蔵座敷で手仕事市見学
- ④畳を作り続けて創業天保7年只見工業所
 - ・工場見学とミニ畳作り体験

★主管 手仕事若柳四人の会

★参加者 各回10人 計20人

若柳で暮らす、まで(丁寧)な手仕事をする4人が、被災から復興へと進みだした元気な栗原市を表現するため、今回のイベントを企画しました。

「伊豆沼・内沼はすまつり」では、小舟に乗って、蓮クラフト作家の山谷信子氏のガイドで、蓮に触れながら見学しました。沼一面に広がる蓮の美しさと大きさに歓声を上げていました。

「若柳地織織元はたや」の工場見学では、伝統工芸の心を聞き、「農家民宿と心の料理有賀の里たかまった」では、蓮の葉を器にした彩色豊かな美味しい食事をいただき、「只見工業所」では、ミニ畳作りをし、職人氣分を体感しました。

私達スタッフも、栗原の魅力を感じることが出来ました。

甘くて香ばしい、昔懐かしの地元食 ミョウガの葉焼き教室



★日時 8月6日(土) 10:00~12:00
★場所 この花さくや姫プラザ
★主管 くりはら食ツーリズム研究会
★参加者 18人

「ミョウガの葉焼き」は、昔から田んぼ仕事の小屋や子どものおやつとして食べられてきた地元食です。作り方は、小麦粉と黒砂糖、水などをまぜてこね、ミョウガの葉にのせて焼くだけという、とてもシンプルなもの。

はじめて作ったという人がほとんどでしたが、作り方は簡単なので、ご家庭でもぜひ、試してほしいですね。

Pick UP

たかまった蔵座敷で手仕事市

8月4日(木)~8月10日(水)

主催：手仕事若柳四人の会

後援：くりはらツーリズムネットワーク

明治10年に建てられた「たかまった」の蔵座敷で、枯れハスの葉や茎、花托を素材にした蓮クラフト作品、伝統工芸若柳地織の服や小物、癒しの香りがする畳小物やい草ぞうり等が展示、販売されました。

「蓮の花咲く栗原ゆらゆら巡り」と同時開催で行われたもので、期間中に約200人が訪れ、展示品の鑑賞や購入、手仕事若柳四人の会の方々との交流を楽しんでいました。



心のらいんプロジェクト
陶芸体験～創造の楽しみ～（栗原市編）



- ★日時
 8月18日(木)・8月19日(金)
 午前の部 9:30～11:30
 午後の部 13:30～15:30
- ★場所 座主窯(栗原市花山字本沢稲千場33)
- ★参加者 各回10人 計40人


花山湖を一望できる自然豊かな「座主窯」で、心を落ち着かせ、物作りの楽しさを体験してもらいたいと考え、陶芸体験を企画しました。

避難所生活の方はもちろん、栗原市内にお住まいの方は、無料で参加できる企画です。

雨が強く降る天候でしたが、湿度が高く、粘土が乾きにくい絶好の陶芸日和となりました。

湯呑みやカップ、お皿や茶碗など、各々作りたいものを、陶芸家・工藤修二氏のアドバイスや技を借りて造形しました。

薪焼き予定は9月下旬を予定しています。焼き上がりが楽しみです。

 助成「花王・コミュニティミュージアム・プログラム」

心のらいんプロジェクト
陶芸体験～創造の楽しみ～（石巻市編）

- ★日時 8月20日(土) 13:30～15:30
- ★場所 福地林業社生活改善センター(石巻市)
- ★参加者 17人


陶芸体験を石巻市でも行いました。現地のボランティアセンターの方々の協力を得て、講師は、登米市東和町「瑞樹窯」の笠政彦氏。

子ども達が多く参加してくれました。今回は粘土を多めに準備して土器づくりに挑戦してもらい、つぼや大皿、鉢植えやオブジェなどに造形してもらいました。

造形してもらった作品は9月24日(土)に「風の沢(栗原市一迫)」で開催される「くりはら万葉祭～土と火のまつり～」で野焼きします。

参加者の皆様と保護者の方々を招待して野焼きの体験をしてもらい、お祭りを楽しんでもらう予定です。



 助成「花王・コミュニティミュージアム・プログラム」

～ その他の活動 ～

8月2日(火)
 みやぎ地域づくり団体協議会栗原支部総会
 出席者：馬渡副会長兼事務局長

8月10日(水)
 第3回役員会
 ・協議事項
 「くりはら博覧会らいん」実施計画等
 出席者：役員5人、事務局、オブザーバー等

8月13日(土)～8月15日(月)
 事務局お盆休み

8月21日(日)
 旧奥州街道有壁宿保存と
 活性化グループ助郷の会 主催事業
 「福島県会津西街道大内宿視察研修」
 出席者：事務局から3人

8月28日(日)
 もちとうもろこし振興会 主催事業
 「もちとうもろこし復活再生プロジェクト
 もぎとり&試食体験」協力
 参加者：50人

お知らせ

くりはら観光塾

写真家・藤田洋三氏に学ぶ-資源の観方・観つけ方-

講義では、普段見過ごしがちな景観の中にある地域資源の観つけ方や観察の方法、視点を学びます。

フィールドワークでは、栗原市の地域資源の一つである「ねじりほんによ」を例に、その構造や仕組みに触れ、山間地の土地の形状を生かした米作りについて学びます。さらに、カメラを持って周辺のフィールド観察しながら、人の営みが作り出す農村景観の魅力を探ります。

○日程 10月7日(金) 10:00~15:30

【第1部】 講義 藤田洋三氏

10:00~12:00 オリエンテーション・講義・質疑応答

【第2部】 フィールドワーク(栗駒松倉地内) 藤田洋三氏も同行

12:50~13:00 移動(栗原市マイクロバスで移動)

13:00~15:30 ねじりほんによの作成体験 指導 菊地初佳氏(栗駒松倉)
カメラを持って里山散策
撮影した写真でディスカッション

○定員 【第1部】栗原市民50人 【第2部】栗原市民25人

※第2部のみの参加はできません。定員になり次第締め切り。

○参加費 無料(昼食は各自)

○集合場所 栗駒総合支所大会議室(9:50集合)

○持ち物 筆記用具、第2部参加者はカメラ、長靴、動きやすい服装

○申込締切 9月30日(金)17:00まで

○申込先 くりはら研究所(栗原市田園観光課) TEL. 0228-22-1151

主催: くりはら研究所 協力: くりはらツーリズムネットワーク

藤田洋三氏。写真家。1950年大分県生まれ。大分を拠点にライフワークとして「鏝絵」「土壁」「石灰窯」「墓塚」などの撮影と取材を続けている。著書に『鏝絵放浪記』『墓塚放浪記』『世間遺産放浪記』など他多数。人の営みが作り上げた風土を感じさせる景観として「世間遺産」を提唱。



全国 グリーン・ツーリズム ネットワーク 熊本・阿蘇大会

感動体験! くまもとツーリズム

九州はひとつ
ASOからASIAへ

○日程

11月21日(月)
・22日(火)

阿蘇カルデラツーリズムという名称でツーリズム業界では先進的な活動をしている阿蘇市の団体が、近隣の市の団体と共に今大会を開催することとなり、阿蘇市の枠を飛び越え熊本県の枠も飛び越え、九州のネットワークの輪を広げ、将来はアジア全体までという目線での大会となるようです。

事務局スタッフと一緒にネットワークの輪を広げに熊本県阿蘇へ行ってみませんか。

興味のある方、参加したい方は、10月12日(水)まで事務局にご連絡ください。

※旅費は全て自己負担

くりはら旧町村名を



アズマシャクナゲ

第5記「花山の由来」

「御嶽山(みただけやま)」別名「石楠花山(しやくなげやま)」とも呼ばれている山があり、石楠花の花咲く山、花山村と名付けられたそうです。見ごろは5月から6月ということで、今回は見ることはできませんでした。

平安時代中期には、華山城(かざんじょう)や、花山寺(かざんじ)と、地名に関係ありそうな建造物が存在していたということで、実際に行ってみました。

華山城跡地は広い駐車場になっていて、花山寺跡地はすっかり更地になっていました。残念ながら今回は地名に関連した物を見ることはできませんでした。

来年の5月に、石楠花の花咲く花山を見に来たいと思います。

次回は築館の由来を調べTENします!

(事務局広報宣伝部: 千葉 秀知)